

地方創生の取り組みをトータルサポートする JTBの地域交流事業

地方創生に貢献する 新たな時代の旅行会社へ

少子高齢化社会の進展、地域経済の低迷など、多くの社会課題が存在している地域において、経済波及効果と雇用創出効果の高い観光振興によって交流人口を拡大し、地域を活性化することが重要とされている。

JTBグループは、旅行業の枠を超えて、「旅を通じて交流を創造する」交流文化事業を掲げ、地域の社会課題を解決し、経済の活性化を実現する地域交流事業を全国各地で実践している。地域への「送客」と「集客」に取組むことにより、双方の交流人口を生み出し、地方創生に貢献する新たな時代の旅行会社を目指している。このことは、地域活性化に貢献する「公益」と「企業利益」の両立を目指す、「いっしょにCOV(Creating shared value)」の取り組みである。

具体的には、JTBグループのネットワークによるマーケティング(発地)側と受入(着地)側の連携(発地・着地連動)により、受入地域の観点から地域固有の魅

力を発掘・育成し、発地への流通を促進することにより、観光を基軸とした交流人口の拡大を図っている。そうした地域交流事業に対して、JTBグループは47都道府県に所在する営業支店をフロントに、グループ全体の様々なリソースを活用し取り組んでいる。

例えば地方創生を実現するためのテーマの一つとして、地域が自らの方で稼げる仕組みを作り、地域の生産性を上げることがある。そのためには、データ収集および分析、また効果的な情報発信実現のための仕組みが必要だ。

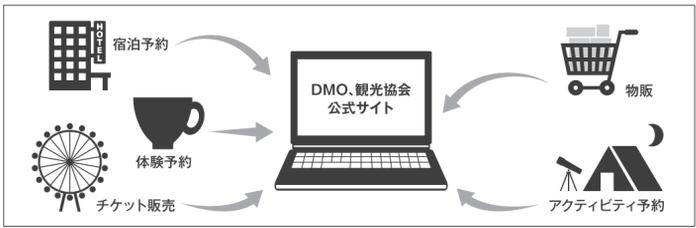
また「観光」だけでなく日本の「食」「農」、文化を結び付け、国内外に「本物の日本の魅力」を伝えることにより、交流人口の拡大と豊かな地域づくりを目指すことも重要な課題だ。

そのような地域の課題に取り組み、JTBグループの具体的なソリューションで、地域交流事業に取り組み

る。具体的なソリューションとして、地域交流事業に取り組み

観光関連商品の販売管理システムを構築 地域の戦略構築に 活用可能な「エリアゲート」

取り組み事例1



※日本版DMO:地域の「稼ぐ力」を引き出す「観光地経営」の視点に立ち、コンセプトのある観光地づくりを実現するための戦略を策定し、PDCAを回すことで成果に繋げることを目的とした法人

JTBはアクティビティ予約サイト「asoview(アソビウイフ)」(URL: http://www.asoview.com)を運営するアソビユー株式会社と連携し、自治体や地域の「稼ぐ力」を引き出す「観光地経営」のサポートを強化している。

観光地経営の中心を担う日本版DMO(※)の主な役割は、観光地づくりを行うことにおいて、多様な関係者の合意形成、効果的な情報発信の実現には専門的なノウハウやリソースが必要であり、多大な費用を要するため、日本版DMOが独自に取り組みには多くの課題が存在する。こうした背景を受け、JTBとアソビユーは、データ収集および分析、効果的な情報発信について、クラウドを通して効率化を図ることができるシステム「エリアゲート」を開発し、2017年1月26日より「奄美大島DMO」に導入を開始した。

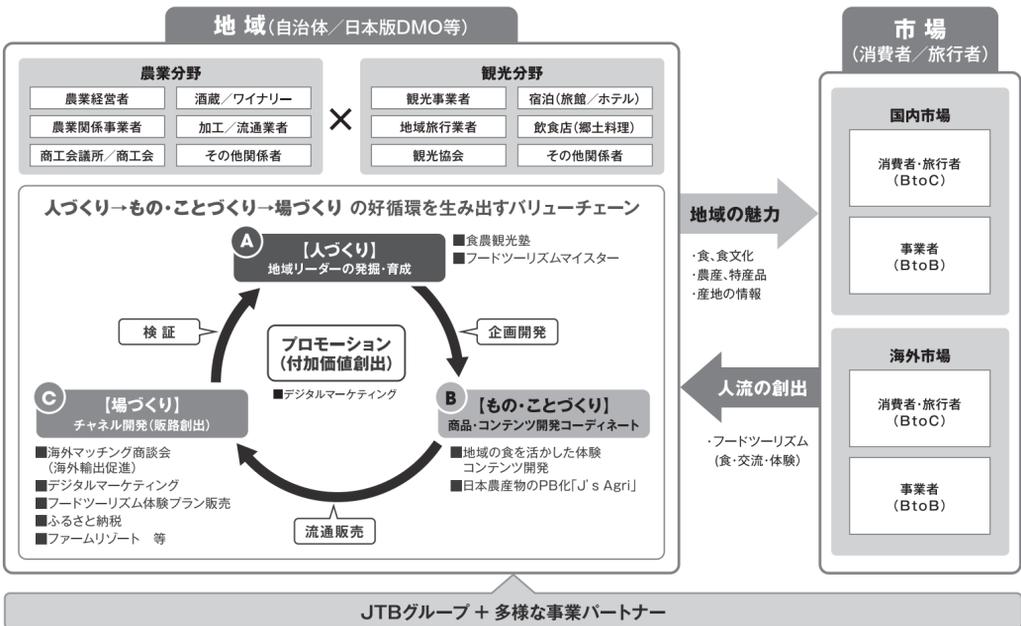
自治体や日本版DMOの公式サイトに「エリアゲート」の機能を追加することにより、公式サイト上の観光商品の流通サポートをはじめ、販売管理・顧客分析・収益化等といった専門性の高い分野においてクラウドによる一元管理を可能にし、費用削減と効率化に貢献していく。高などのデータを蓄積して分析することが出来るだけでなく、販売金額に応じた手数料収益を得ることが出来る。具体的には、JTBやふるさとトラベル、アソビユーなどが扱う商品などの観光商品について、公式サイト上の宿泊や体験の予約、チケット販売、物品販売の機能などを

各種データ等の継続的な収集分析、明確なコンセプトに基づいた戦略(マーケティング)の策定、KPIの設定、PDCAサイクルの確立、関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーションなど、データ収集および分析、効果的な情報発信の実現には専門的なノウハウやリソースが必要であり、多大な費用を要するため、日本版DMOが独自に取り組みには多くの課題が存在する。こうした背景を受け、JTBとアソビユーは、データ収集および分析、効果的な情報発信について、クラウドを通して効率化を図ることが出来るシステム「エリアゲート」を開発し、2017年1月26日より「奄美大島DMO」に導入を開始した。

自治体や日本版DMOの公式サイトに「エリアゲート」の機能を追加することにより、公式サイト上の観光商品の流通サポートをはじめ、販売管理・顧客分析・収益化等といった専門性の高い分野においてクラウドによる一元管理を可能にし、費用削減と効率化に貢献していく。高などのデータを蓄積して分析することが出来るだけでなく、販売金額に応じた手数料収益を得ることが出来る。具体的には、JTBやふるさとトラベル、アソビユーなどが扱う商品などの観光商品について、公式サイト上の宿泊や体験の予約、チケット販売、物品販売の機能などを

地域と市場(消費者)をつなぐ食農観光プラットフォーム

JTBグループは、地域の「観光振興」と「農業の活性化」による持続可能な地域づくりに取り組んでいる。



食農×観光で地方創生を実現 「食農観光プラットフォーム」

取り組み事例2

地域交流事業拡大に取り組み全社体制図

JTBグループが持つ様々なネットワーク、ソリューション、ノウハウを活用して地域密着型で専門性の高いサービスを提供している。47都道府県にある支店が中心となり、各都道府県における観光を基軸とした地域活性化を推進する。

自治体・団体・企業ご担当者様

DMC(Destination Management Company)支店担当者

JTBグループ内外のソリューションを活用し、持続的な交流を生み出すことで地域の社会的課題を解決し、地域活性化を実現する、お客様のパートナー

グループ本社 国内事業本部 法人事業部 観光戦略チーム

地域交流事業推進におけるグループ統括機能を持ち、戦略の策定、人材育成、新領域事業開発や、社の代表機能としての官公庁自治体対応

JTB総合研究所

観光地などの調査研究、アクションプランの実行支援など中長期的な視点でのコンサルティング、観光・集客に関する新規事業立ち上げに向けた事業開発支援

観光開発プロデューサー

地域の方々と共に観光コンテンツを開発する集客ビジネスのエキスパート。既存の旅行事業・着地型商品開発等からソーシャル事業支援まで推進。全国の各地域会社に配置

地域誘客のための商品造成会社群	地域課題解決のためのソリューション会社群	
JTB国内旅行企画 地域統括部長	JTBコーポレートセールス	JTBコミュニケーションデザイン
JTBグローバルマーケティング&トータル 地域誘客プロデューサー	JTBハブリッキング	JTB商事
JTBメディアリーディング	JTBベネフィット	i.JTB

その他JTBグループ各社が地域の課題解決をサポート。(167社:2016年12月末現在)

▼食農観光人財 (地域リーダー)の育成・発掘
農業を基盤とした食・観光との連携により、地域の新たな魅力を創造することによって、地域リーダーの発掘・育成から、地域内の多様な事業者が連携し地域資源を活かした持続可能な事業づくりまで、単なる研修では終わらない「貫いたカリキュラム」を提供する。

▼フードツーリズムマイスター講座
食・観光関連の従事者、地域活性化に関心のある方対象に食と観光の地域活性化を担う人材育成のための講座を開設。今後は、マイスターが企画する「フードツーリズム体験」や「アソビユー」共同で開設するサイトを通過して告知、販売していく。

▼日本酒/焼酎/ワインナビゲーター講座
トータル飲料コンサルタントの友田昌子氏を講師として、旅館スタッフを対象に、日本酒・焼酎・ワイン等の理解を通じて、料理に合わせた各酒類をお客様におすすめし、旅館の付加価値向上とともに飲料売り上げアップにつなげる各酒類のナビゲーター養成講座も実施している。

▼商品コンテンツ開発
地域の食を活かした体験コンテンツ開発
■日本農産物のPB化「J's Agri」

▼食のマッチング商談会
地域特産品などの海外販路開拓支援のためのマッチング商談会を実施し、質の高い商談機会の提供、継続的な海外販路支援に取り組んでいる。

▼チャネル開発
場づくり

JTB 地域コンテンツ管理・販売システム エリアゲート

公式サイトに地域コンテンツの管理・販売機能を追加できます エリアゲートは、ホームページを通じて地域コンテンツの管理・販売を実現することで、顧客データの分析ができ、販売手数料収益を得ることができるシステムです。

地域コンテンツ管理・販売システム 4つの特徴

- 豊富な地域コンテンツ
- 導入運用も手間が不要
- データを分析し施策立案
- 販売金額に応じた手数料収益

このような課題を持っているかたに最適です

- ホームページが情報発信にとどまり、予約・販売など行動のきっかけをサイト上で提供できていない。
- 作成したツアーやアクティビティをネットで販売したい。
- ホテル・体験などの予約を交渉するほど時間に余裕がない。
- EC販売できるホームページを構築するほど予算がない。

観光協会ホームページ/DMOホームページ
詳しくはJTB地域交流事業サイトをご覧ください
http://www.jtb.co.jp/chiikikoryu/about/area_gate.asp